

まちづくりキャッチフレーズ

あふれる笑顔 豊かな緑

交流とふれあいのまち倉吉

## 夏を彩る

### 第29回 倉吉打吹まつり



#### ●主な内容●

- 第29回倉吉打吹まつり……………2～3
- 第20回せきがね里見まつり……………4
- 市民体育大会参加者募集……………5
- 第18回部落解放研究倉吉市女性集会 ……6
- ハート・バリアフリー……………7
- せきなび/韓日記……………8
- 暮らしの交差点……………9～14
- ほげん……………15
- 伯耆しあわせの郷/キャンパスだより…16

# 2005 8・15

※この写真は合成です

●倉吉市の人口(基本台帳) 52,811人(－ 57)男 24,998人(－ 37)女 27,813人(－ 20)世帯数 20,018世帯(－ 2)  
 ●外国人登録者数 370人(+ 8)男 103人(+ 1)女 267人(+ 7)世帯数 317世帯(+ 8) (H17. 7. 31 現在)

発行 鳥取県倉吉市 編集 企画部秘書広報課 〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722 ☎(0858) 22-8111 FAX (0858) 22-1087  
 倉吉市ホームページアドレス <http://www.city.kurayoshi.tottori.jp> 毎月1・15日発行 印刷 山本印刷株式会社

# 打吹祭り



8月6日(土)



# 第20回

# せきがね里見まつり

日時 平成17年9月4日(日) 14:30～(雨天決行)  
場所 倉吉市立山守小学校体育館 および 周辺

倉吉談語の会

※問い合わせ先：せきがね里見まつり実施委員会  
(事務局：関金庁舎交流推進課 ☎ 45-2112 / FAX 45-3964)



11:30

里見八犬伝ゆかりの地めぐり

- \* 一般市民、里見一族
- \* 「コース」里見忠義屋敷跡～八幡神社(北条町)～大岳院～里見主従の廟～せきがね里見まつり

14:30

神事

- \* 「主従の廟」前で実施
- \* 関係者：宮司・実施委員会・来賓者・八賢士太鼓愛好会 ほか

15:00

オープニング パレード

- \* 山守小学校児童による鼓隊パレード(神社前～堀橋～小学校体育館前)

15:30

開会セレモニー

- \* 開会あいさつ
- \* 里見一族代表あいさつ

15:50

ステージイベント  
(出演団体など)

- ・大正琴クラブ
  - ・詩吟クラブ
  - ・せきがね民謡同好会
  - ・倉吉談語の会
  - ・さいとりさし保存会
  - ・八賢士太鼓愛好会
  - ・子供歌舞伎保存会
- 守護行列  
(八賢士太鼓の前に執り行う)

- \* 演目・順番などのプログラムの詳細については、各出演グループ代表者による協議で調整。

(日程は都合により、変更となる場合がありますので予め御了承ください。)

18:00

終了予定

**同時開催**

「第14回少年剣士剣道大会」

- ・日時 9月4日(日) 9:00～
- ・場所 関金小学校体育館
- ・主催 倉吉市剣道連盟
- ・後援 倉吉市、東伯郡剣道連盟
- ・内容 鳥取県中部地区の小学生・中学生の団体戦として実施  
倉吉市剣道連盟が運営  
小学生(低学年の部・高学年の部・女子の部)  
中学生(男子の部・女子の部)



八賢士太鼓愛好会



子供歌舞伎保存会

## 【せきがね里見まつり】

関金町堀は、安房(あわ)国(千葉県館山市)の領主・房総里見氏10代忠義(ただよし)と、その家臣8人の終えんの地です。房総里見氏と8人の家臣と言えば、滝沢馬琴の小説『南総里見八犬伝』のモデルとして知られています。

なぜ、房州の大名が、遠く離れたここ伯耆国・今の関金町堀で最期を遂げたのでしょうか。

忠義は、慶長19年(1614年)、徳川幕府によって無実の罪で伯耆国(倉吉市)に左遷、転封されます。その後、住居を下田中から関金町堀に移しましたが、里見家の再建を願いながらも29歳という若さで亡くなりました。また、その時最後まで従っていた家臣8人は三ヶ月後の命日にあたる9月19日に後を追って自刃します。

忠義とその忠臣の位牌(いはい)は、東町の大岳院に供養されています。また、関金町堀の山郷神社の近くには、御霊を鎮める廟(びょう)があります。

山守地区の人々は忠義の無念に強くひかれ、昭和61年にせき

がね里見まつりが始まりました。

まつりは毎年9月の第1日曜日に行われ、町内外の人たちや「全国里見一族の会」のかたでにぎわい、山守小学校児童が演じる南総里見八犬伝の子ども歌舞伎、八賢士太鼓愛好会のメンバーによる「守護行列」、「八賢士太鼓」などで盛り上がります。

## 【子供歌舞伎】

9月の第1日曜日に開催されている「せきがね里見まつり」で、山守小学校6年生により毎年、演じられ代々先輩から後輩へと伝えられます。上演されるのは「里見八犬土堀村館勢揃の場」で、児童たちは夏休みの間、本番に向けて練習に励みます。子供歌舞伎は、シナリオ制作から演技指導まで地域住民が携わり、化粧から着付け・黒子など裏方として子どもを盛り立て、地域の人々手づくりの子ども歌舞伎となり、子どもの健全育成やまつりの名物にまで成長するなど、山守の地域活性に大きな役割を果たしています。